



# 田中彩子さん

## 「舞鶴市文化親善大使」に就任

本市では「すべての市民が文化を楽しみ、創造できるまち」「まちを誇りに思い、愛着が感じられる文化都市」を目指し「文化のまちづくり」を推進しています。このたび、さらなる文化の発展と創造力を育み、都市としてのブランド力アップにつなげることを目的

に「舞鶴市文化親善大使」を本市出身で世界的に活躍されているソプラノ歌手 田中彩子さんに委嘱しました。子ども達に音楽を指導いただくことで、質の高い文化芸術に触れる機会を創出します。

プロフィール  
1984年舞鶴市生まれ。オーストリアのウィーン在住。ソプラノ歌手。  
西舞鶴高校を卒業後、18歳の時に単身でウィーンに渡り、セロから声楽家としての道を歩む。  
22歳という若さでスイスのベルン市立劇場でソリストデビューを飾り、世界で活躍する。ソプラノの中でもさらに高い音域のコロラトゥーラは透き通るような歌声が特徴で「天使の声」と称され、その歌声を採る数少ない一人。2019年『Zessens』誌「世界が尊敬する日本人100人」に選出。

### 委嘱時のスピーチ(抜粋)

舞鶴市のように文化に力を入れてくれるまちは、全国的に珍しいです。今のようにコロナで大変な時期は特に、二つに分かれると思います。大変な時期だから文化どころではないのか、今だからこそ文化を大事にするのか。文化を捨てた国は滅びるという言葉は信じます。文化を切り捨ててしまつてはその国は発展できません。舞鶴に生まれて良かったなと心から思います。  
私は3歳からピアノを始めました。たまたま幼稚園の近くにピアノ教室があったので、楽しかったから続けました。この総合文化会館のホールにも何回か、発表会やコンクールで来ましたので懐かしいと思いました。

子どもたちも舞台上立って緊張を味わうと思いますが、その緊張を覚えてほしいです。一瞬で夢のように消える、そういう時間は大人になってから大事なものになります。失敗したって大丈夫。

たとえ音楽家でなくても誰でも個性を持つこと、まず自分を好きになること、自分に自信を持つこと。自分はできる、自分は大丈夫と思いつけること、周りの大人も信じ続けてあげることが大事です。私がここに立つことは少し前には信じられないことでした。でもそういうことが人生には起きる。

若い人たち、10代の子ども達には、自分を信じることを忘れずに、歩んでいっていただきたいです。



### INTERVIEW



日星高3年 西村萌瑠さん

歌うことが好きだったので、高校で合唱部に入り、顧問の中野先生の勧めで中高生合唱団にも入りました。委嘱式では田中彩子さんのきれいな歌声に圧倒されました。人に感動を与えるってこういうことかと思うと同時に、この域にたどり着くのは努力の積み重ねだということに気付きました。私にもキャビンアテンダントになりたいという夢があります。10代でウィーンに行き、やりたいことに向かっていきなかつた田中さんのように、大学へ進み夢を叶えられるよう努力しようと思っています。

舞鶴高専2年 坪倉咲希さん

音楽の授業が楽しくて、姉の影響もあり児童合唱団に入り、そのつながりで中高生合唱団へ入団しました。委嘱式では田中さんがきれいでテレビからそのまま出てきたような印象を受けました。歌声も透明感があり、目指していた歌声をはっきりと感じられました。夢はまだありませんが高専で面白いと感じたプログラミングを学んでいきます。若くても行動に移していけば何にもなれると教えてくれた田中さんにならう、夢ができれば、一直線にその方向に向かっていきたいです。  
合唱は人が多い方が楽しいので「舞鶴にも歌好きがこんなにもいる」ということを知ってもらい、一緒に歌いたいと思ってもらえるような合唱が披露できればと思います。



### EVENT

#### 舞鶴市文化親善大使就任記念 田中彩子ソプラノ・リサイタル

時 10月24日(日)15時開演(14時開場)

場 総合文化会館

内 ソプラノの田中彩子さん、ピアノの加藤昌則さんによるリサイタル

対 小学生以上

料 全席指定S席(一般)3,500円、(高校生以下)1,500円、A席(一般)2,500円、(高校生以下)1,000円  
(友の会)S席(一般)3,000円、(高校生以下)300円

※この公演は、京都府からの助成を受けて実施するため、入場料金が低額に設定されています。

他 発売日(一般発売)8月8日(日)9時から  
電話予約・オンライン・プレイガイド・ローソンチケットは11時から  
※1人4枚まで  
(友の会先行発売)8月5日(日)同館窓口9時から  
電話予約11時から

※1会員4枚まで割引は1枚

#### 文化親善大使としての活動

時 10月25日(月)

内 午前・午後は小中学校への指導  
夕方は市内合唱団体に所属する子ども達への指導

